



創立記念日にあたって

宮城県宮城第一高等学校

1 開校からの歩み

本校は、明治 30 年（1897 年）4 月 12 日、今から 122 年前に「仙台市高等女学校」として仙台市東二番丁の地に開校しました。明治 33 年 4 月に宮城県に移管され「宮城県高等女学校」と改称し、その後も幾度か改称し校地の移転を行いました。昭和 23 年 4 月には学制改革により「宮城県第一女子高等学校」と改称し、昭和 28 年 7 月 25 日に北六番丁から八幡一丁目（旧中島丁）の現在地に移転しました。

平成 9 年度には創立 100 周年を迎えるとともに、普通科に加えて新たに理数科を設置し、平成 14 年度から 4 年間は文部科学省からスーパー・サイエンス・ハイスクールの指定を受けました。平成 20 年 4 月からは男女共学への移行にあわせて「宮城県宮城第一高等学校」に改称するとともに、進学重視型単位制高等学校として現在に至っています。

平成 29 年度に開校 120 周年目を迎え、平成 30 年度末で 32,427 名（高等学校としては 24,804 名）の卒業生を輩出し、海外も含め社会の様々な分野で皆さんの先輩が活躍しています。著名な卒業生としては、ハリー・ポッターシリーズ訳者の松岡佑子氏、東大名誉教授で現東京理科大学教授の黒田玲子氏などがいます。



新旧校舎（昭和 42 年）

2 宮一の今

平成 31 年度（2019 年度）現在、各年次普通科 5 学級と理数科 2 学級の計 7 学級、全年次で 21 学級 840 名の定員で、「自主自律」の校風の下、生徒の皆さんは、学業、学校行事、部活動等に全力で取り組み青春を謳歌していることと思います。

教育活動では、自他や真理を尊ぶ精神の昂揚などを目指して国際理解教育や高大連携に力を入れており、姉妹校である英国シティ・オブ・ロンドン・フリーメンズスクールや研修旅行先の台湾台南第一高級中学などとの生徒交流、大学教授や著名な社会人を招聘した講演会の開催などを積極的に行っています。

生徒の皆さんが企画・運営する学友会行事としては、4 月の春季体育大会、7 月の歌合戦、8 月末の秋桜祭、10 月の秋季体育大会などがあります。特にクラス対抗で行われる歌合戦は、歌、踊り、衣装、舞台装置などのすべてを自ら準備し、観客へのメッセージを込めた感動的なステージを繰り広げる自慢の行事となっています。

3 未来へ

現在、校舎の老朽化に伴い、県の大規模事業として現在地に校舎を改築することが決定されており、令和 6 年度（2024 年度）の供用を目指して関係者と打ち合わせを重ね準備を進めているところです。1、2 年次の生徒の皆さんは、来年の夏以降、仮設校舎での生活となる予定ですが、学習環境が変わっても、これまでの伝統の上に新たな宮一の伝統を力一杯創造し、未来の後輩たちに引き継いでいってほしいと願っています。

創立記念日にあたり、これまでの歴史と伝統に思いを馳せるとともに、未来に向けて各自の志を再確認しましょう。